

# ジェイリース 中国の業者と提携

## 与信ノウハウ生かし住居提供

に上る。互いの与信ノウハウを活用し、顧客獲得を図る。

中国人が日本で留学や就労をするのに住居が必要になった際、申し込みを受けたラカラ社が収入などの個人情報进行分析し、ジェイリースと契約する日本の不動産会社に提供。情報に基づいて適正な家賃の物件を紹介する。

契約後に家賃の未納が発生すればジェイリースが不動産会社に代位弁済し、中国人客に立て替え分を請求する仕組み。

中国人ら外国人が国内で住居を借りようとする際、信用信息が不明なことなどから契約を敬遠する不動産会社も少なくないという。

ジェイリースは「新型コロナウイルスの収束に備え、住居を提供できる機会を逃さないようにする。県内への留学生受け入れにも貢献したい」と語った。

(渡辺大祐)

家賃債務保証業ジェイリース(大分市、中島拓社長兼会長)は25日、中国の大手決済サービス事業者の日本法人「ラカラジャパン」(東京都、張健代表)と業務提携したと発表した。日本で住居を探す中国人向けに、不動産賃貸借関連のサービスを提供する。ジェイリースによると、ラカラ社の親会社はスマートフォンなどを使う決済サービス事業者で、年間取扱高は72兆円(2018年)